

乳がんマンモグラフィ設置医療機関調査について

<目的>

第二期大阪府がん対策推進計画（以下「計画」）では、がんの早期発見における課題としてがん検診の充実を掲げている。その取組目標のひとつであるがん検診提供体制確保について方策を検討することを目的に、乳がんマンモグラフィ検診実施医療機関のキャパシティを把握する。

<調査方法>

平成 26 年 6 月に大阪がん循環器病予防センターより大阪府健康医療部と連名で調査を実施した。

以下の条件から医療機関を抽出し、重複を除いた 349 医療機関へ郵送にて調査依頼、FAX にて回収を行った。

（抽出条件）

- 大阪府医療機関情報システム（平成 26 年 4 月時点）
（標榜科目、専門外来、及び設置機器別の医療機関情報より抽出）
- 日本乳がん検診精度管理中央機構認定施設
- 市町村の実施するがん検診受託医療機関
- 認定 NPO 法人 J.POSH ホームページ掲載検査機関
- 日本医学放射線学会の使用基準を満たす機器を設置する医療機関（雑誌『新医療』より）
- 都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、及び大阪府がん診療拠点病院

大阪府内マンモグラフィ設置医療機関調査結果報告 施設

1 調査概要

(1) 調査時期 平成26年6月

(2) 調査票発送機関数 (機関数)

(3) 回答機関数 (機関数)

発送機関数	拠点病院 (再掲)
349	60

全回答	拠点病院 (再掲)
239	60

2 調査項目ごとの回答内容

【問1】マンモグラフィ装置の設置の有無 (機関数)

	全回答	拠点病院 (再掲)
設置あり	192	58
設置なし	47	2

【問2】マンモグラフィ装置の設置台数及び使用基準を満たした装置、及び施設画像認定を受けた装置 (台数)

全回答			拠点病院 (再掲)		
設置台数	仕様基準を満たす装置台数 (割合)	施設画像認定を受けた装置台数 (割合)	設置台数	仕様基準を満たす装置台数 (割合)	施設画像認定を受けた装置台数 (割合)
207	200 (96.6%)	138 (66.7%)	70	67 (95.7%)	49 (70.0%)

【問3】マンモグラフィの読影体制 (機関数)

	全回答	拠点病院 (再掲)
一次・二次読影共に自施設	115	40
一次読影のみ自施設	63	15
一次・二次読影共に自施設にて読影せず	13	2

【問4】大阪府内市町村におけるがん検診実施状況 (機関数)

	全回答	拠点病院 (再掲)
実施している	143	38
実施していない	49	20

【問5】府内市町村における診療体制 (機関数)

	全回答		拠点病院 (再掲)	
	受け入れあり	受け入れなし	受け入れあり	受け入れなし
夜間	24	118	0	38
土曜日	72	70	10	28
日曜日	7	135	1	37

【問6】平成25年度乳がん検診受け入れ人数 (人/年間)

全回答	拠点病院 (再掲)
90,308人/年間	22,090人/年間

【問7】平成26年度以降の乳がん検診受け入れ体制について

	全回答	拠点病院 (再掲)
昨年と同様	69機関	25機関
増加可能	74機関	13機関
増加可能人数	30,587人/年間	5,032人/年間

大阪府内マンモグラフィ設置医療機関調査結果報告 検診車

1 調査概要

- (1) 調査時期 平成 26 年 6 月
- (2) 調査票発送機関数 28 機関
- (3) 回答機関数 13 機関

2 調査項目ごとの回答内容

【問1】マンモグラフィ装置搭載の検診車の有無（機関数）

設置あり	7
設置なし	6

【問2】マンモグラフィ装置の設置台数及び使用基準を満たした装置、及び施設画像認定を受けた装置（台数）

設置台数	仕様基準を満たす装置台数（割合）	施設画像認定を受けた装置台数（割合）
13	13（100%）	11（84.6%）

【問3】マンモグラフィの読影体制（機関数）

一次・二次読影共に自施設	6
一次読影のみ自施設	1
一次・二次読影共に自施設にて読影せず	0

【問4】大阪府内市町村におけるがん検診実施状況（機関数）

実施している	5
実施していない	2

【問5】平成 25 年度乳がん検診受け入れ人数（人／年間）

43,027 人／年間

【問6】府内市町村における診療体制（機関数）

休日のみ	3
休日・夜間両方	1
夜間のみ	0
どちらも受託していない	1

【問7】平成 26 年度以降の乳がん検診受け入れ体制について

昨年と同様	4 機関（7 台）
増加可能	1 機関（3 台）

平成 26 年度以降の乳がん検診増加可能回数（回／年間）

30 回／年間

推定カバー率について

「計画」では、乳がん検診目標受診率を 40%としている。各医療機関回答の受け入れ可能人数をもとに以下の計算式で推定カバー率を算出し、目標達成のための検診体制の確保が可能であるか検証を行った。

推定カバー率計算式

$$\text{受け入れ可能人数} \div \frac{\text{対象者数}}{2} \times 100 = \text{推定カバー率(\%)} \\ \text{(検診間隔が2年に1回のため)}$$

対象者数について

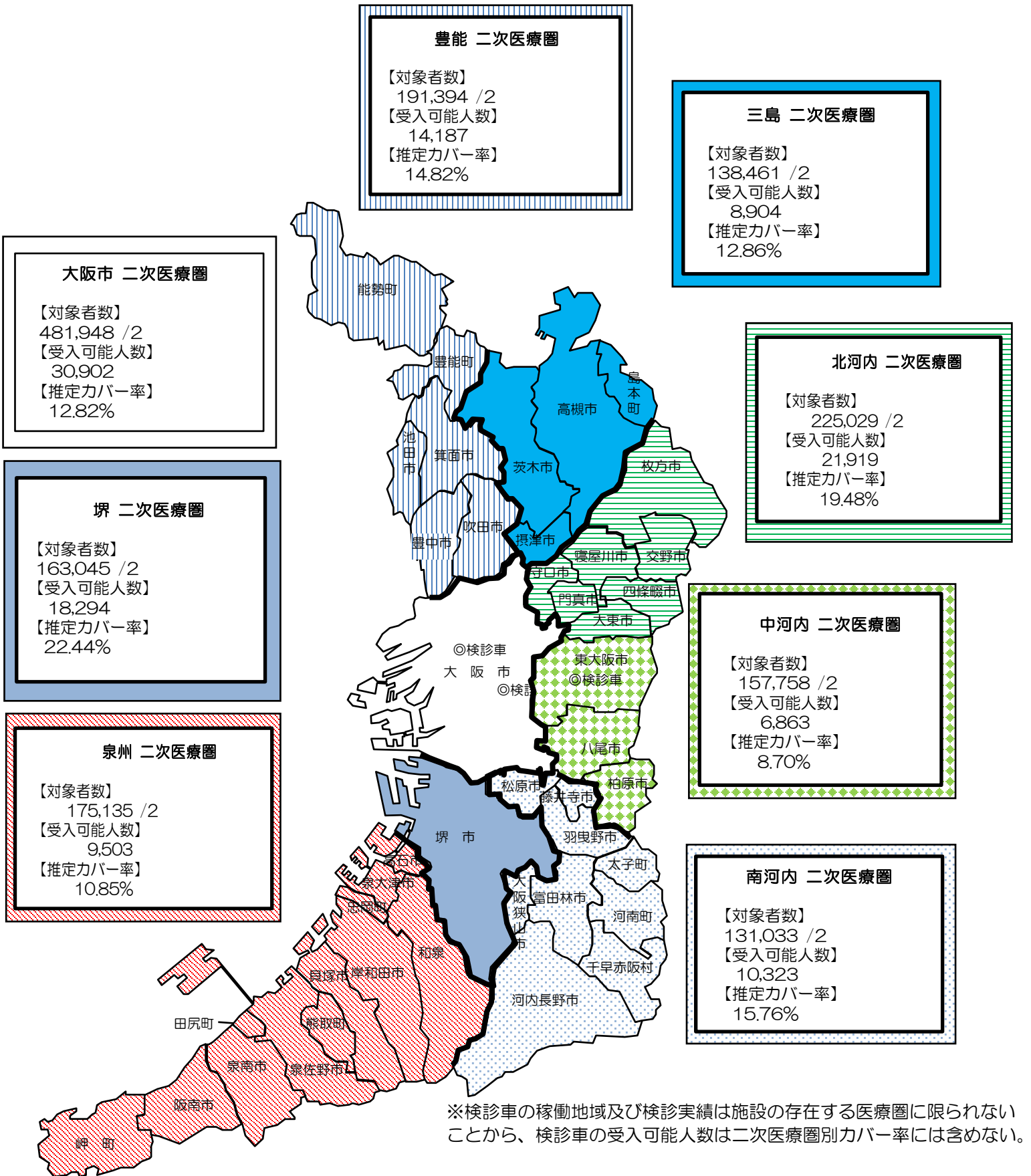
- 1 国立がん研究センターがん対策情報センターHPに掲載された推計対象者数
- 2 (1)より40歳以上69歳以下の人数（国の第二期がん対策推進基本計画の受診率の評価対象年齢）
- 3 (1)より50歳以上69歳以下の人数（大阪府の推奨する乳がん検診重点受診勧奨対象者）
- 4 国勢調査による人口より、40歳以上の人口
- 5 国勢調査による人口より、40歳以上69歳以下の人口
- 6 国勢調査による人口より、50歳以上69歳以下の人口

<推計結果>

- 40歳以上の推計対象者を母数とした検診推定カバー率は全ての二次医療圏別で 20%を下回り、検診車受け入れ人数も含めた府内全体での推定カバー率は 19.70%であった。
- 府の推奨する乳がん検診重点受診勧奨対象者を母数としたカバー率は 46.93%となった。
- 中河内二次医療圏、泉州二次医療圏が特に検診の推定カバー率が低いことがわかる。
- 年間受け入れ可能人数が 1,000 人以上の医療機関が少ない二次医療圏は、検診推定カバー率も低くなる傾向が見られた。

1 二次医療圏別に見たマンモグラフィ検診の推定カバー率

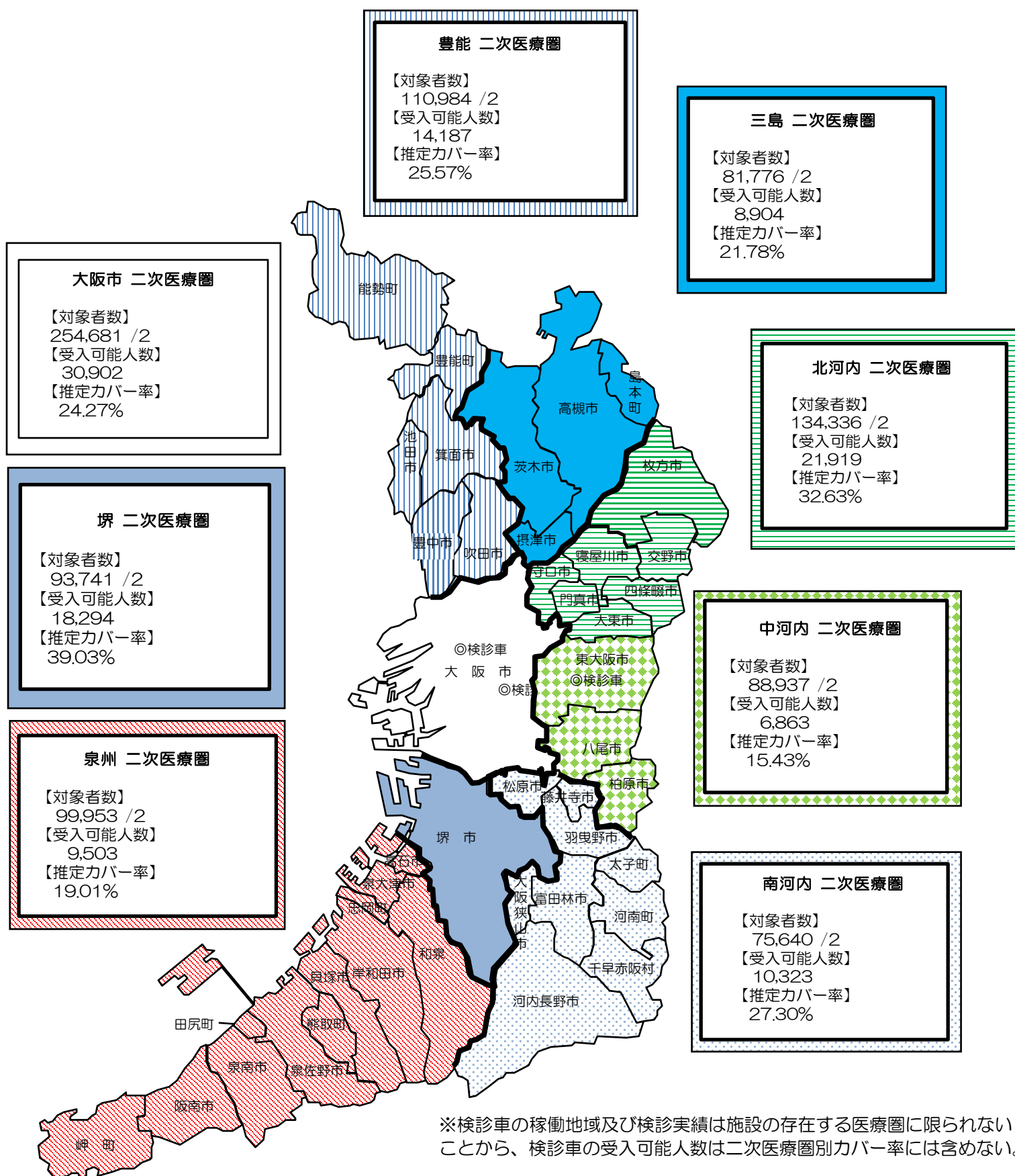
※推計対象者数から算出



<p>大阪府 (施設)</p> <p>【対象者数】 1,663,803 /2</p> <p>【受入可能人数】 120,895</p> <p>【推定カバー率】 14.53%</p>	+	<p>検診車</p> <p>【受入可能人数】 43,027</p>	=	<p>大阪府 (施設+検診車)</p> <p>【対象者数】 1,663,803 /2</p> <p>【受入可能人数】 163,922</p> <p>【推定カバー率】 19.70%</p>
--	---	--	---	--

2 二次医療圏別に見たマンモグラフィ検診の推定カバー率(40-69歳)

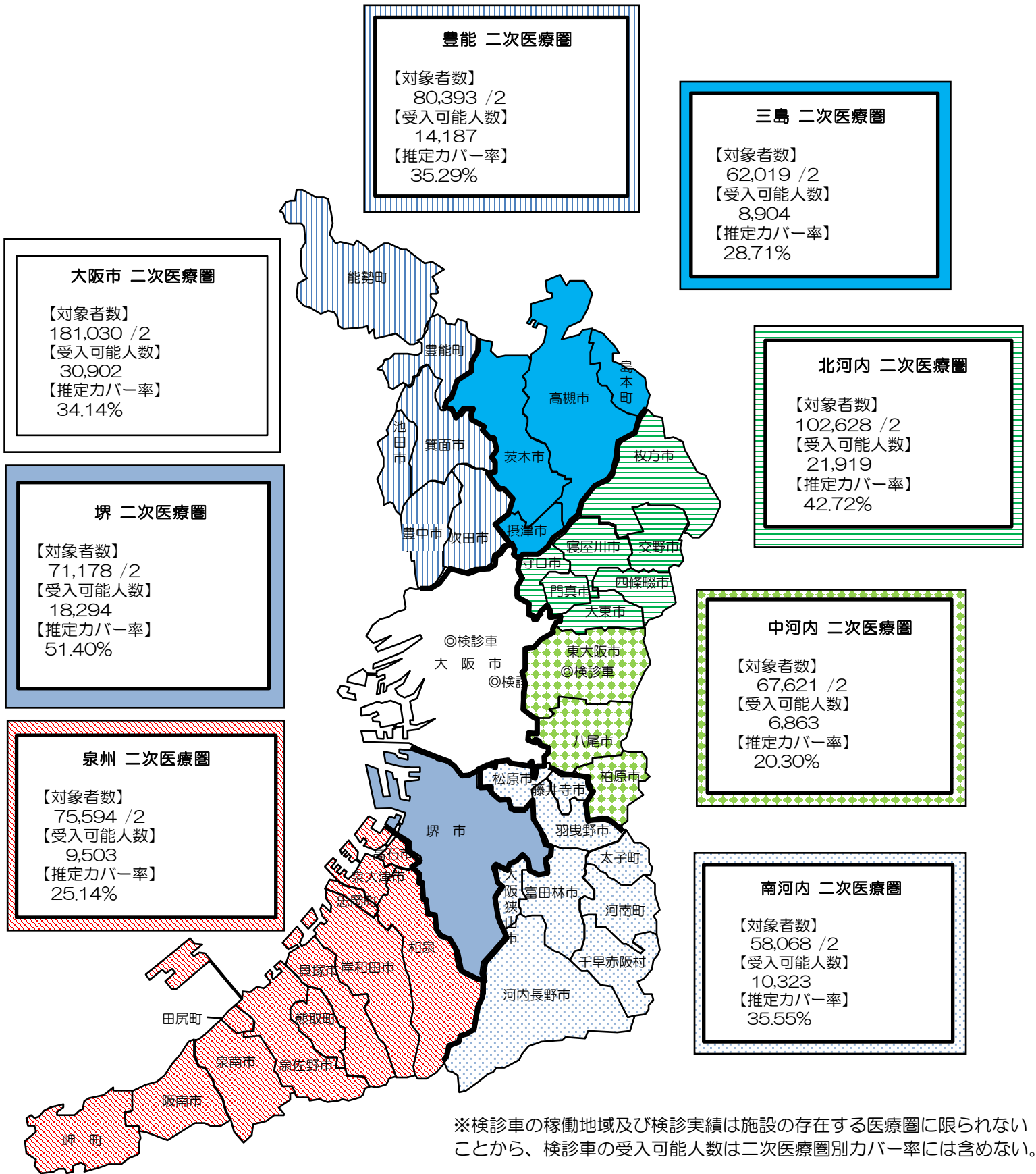
※推計対象者数から算出



大阪府 (施設) 【対象者数】 940,048 /2 【受入可能人数】 120,895 【推定カバー率】 25.72%	+	検診車 【受入可能人数】 43,027	=	大阪府 (施設+検診車) 【対象者数】 940,048 /2 【受入可能人数】 163,922 【推定カバー率】 34.88%
--	---	----------------------------------	---	--

3 二次医療圏別に見たマンモグラフィ検診の推定カバー率(50-69歳)

※推計対象者数から算出

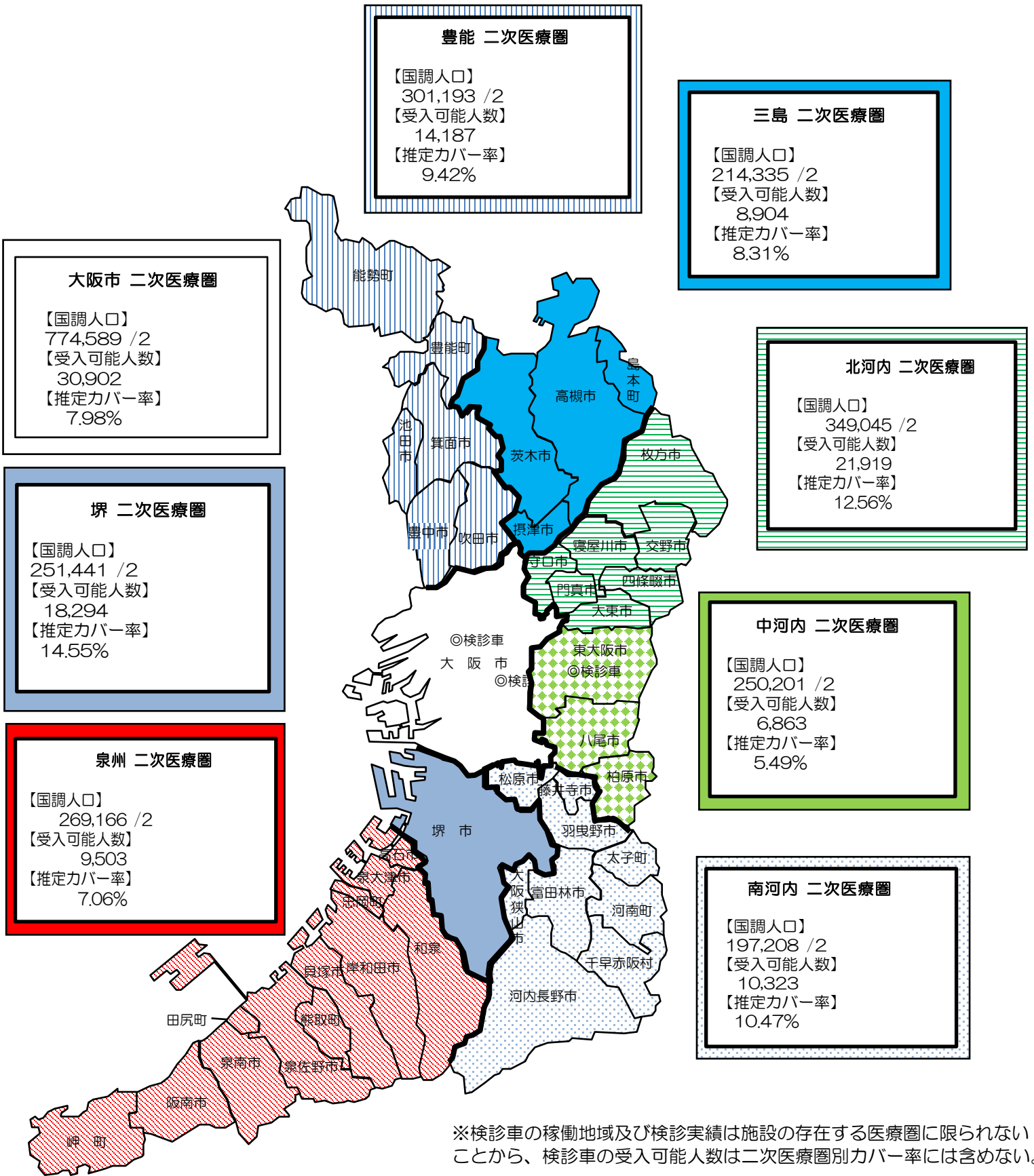


※検診車の稼働地域及び検診実績は施設の存在する医療圏に限られないことから、検診車の受入可能人数は二次医療圏別カバー率には含めない。

<p>大阪府 (施設)</p> <p>【対象者数】 698,531 /2</p> <p>【受入可能人数】 120,895</p> <p>【推定カバー率】 34.61%</p>	+	<p>検診車</p> <p>【受入可能人数】 43,027</p>	=	<p>大阪府 (施設+検診車)</p> <p>【対象者数】 698,531 /2</p> <p>【受入可能人数】 163,922</p> <p>【推定カバー率】 46.93%</p>
--	---	--	---	--

4 二次医療圏別に見たマンモグラフィ検診の推定カバー率

※国勢調査による人口より

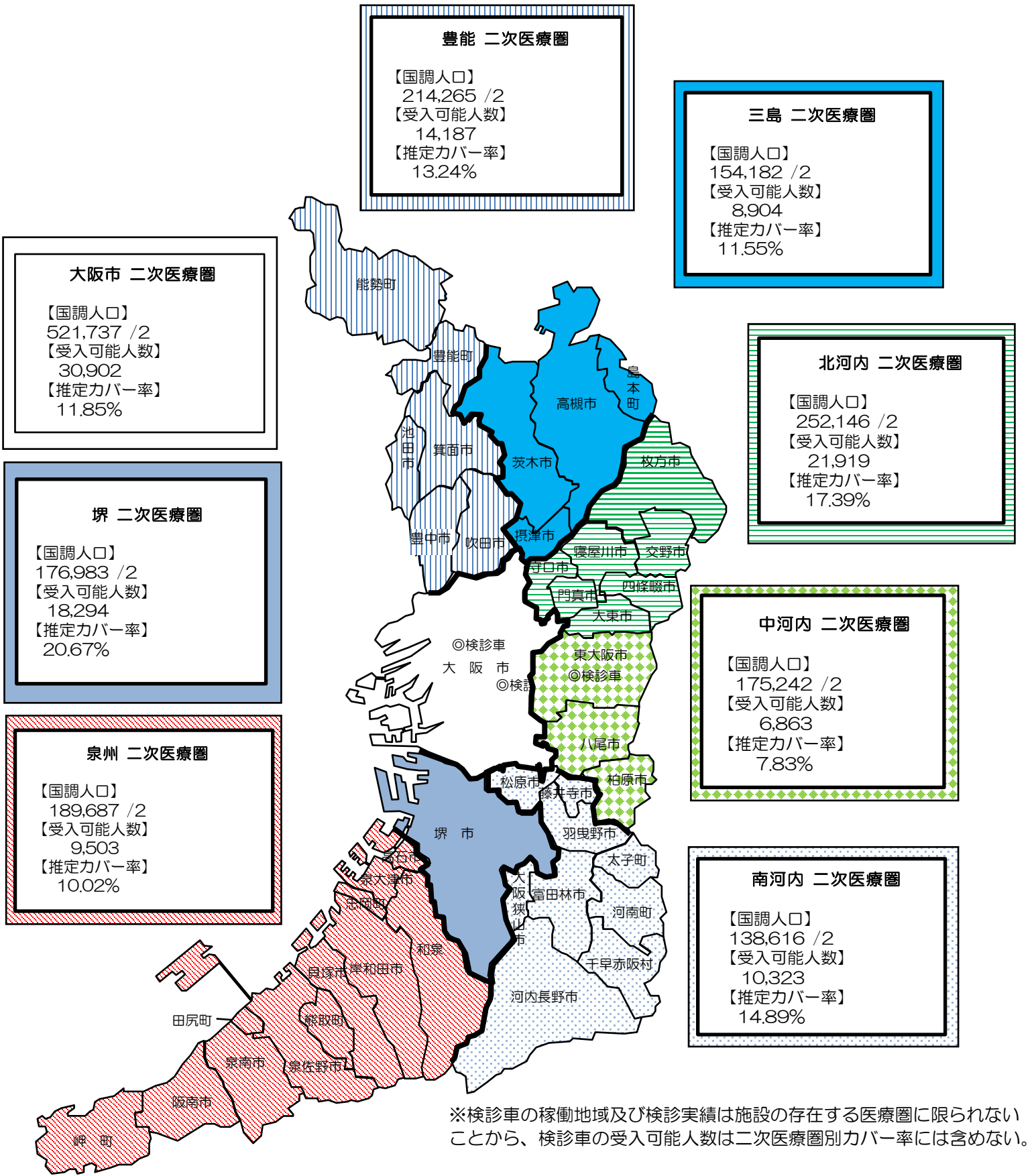


※検診車の稼働地域及び検診実績は施設の存在する医療圏に限られないことから、検診車の受入可能人数は二次医療圏別カバー率には含めない。

<p>大阪府(施設)</p> <p>【国調人口】 2,607,178 /2</p> <p>【受入可能人数】 120,895</p> <p>【推定カバー率】 9.27%</p>	+	<p>検診車</p> <p>【受入可能人数】 43,027</p>	=	<p>大阪府(施設+検診車)</p> <p>【国調人口】 2,607,178 /2</p> <p>【受入可能人数】 163,922</p> <p>【推定カバー率】 12.57%</p>
--	---	--	---	---

5 二次医療圏別に見たマンモグラフィ検診の推定カバー率(40-69歳)

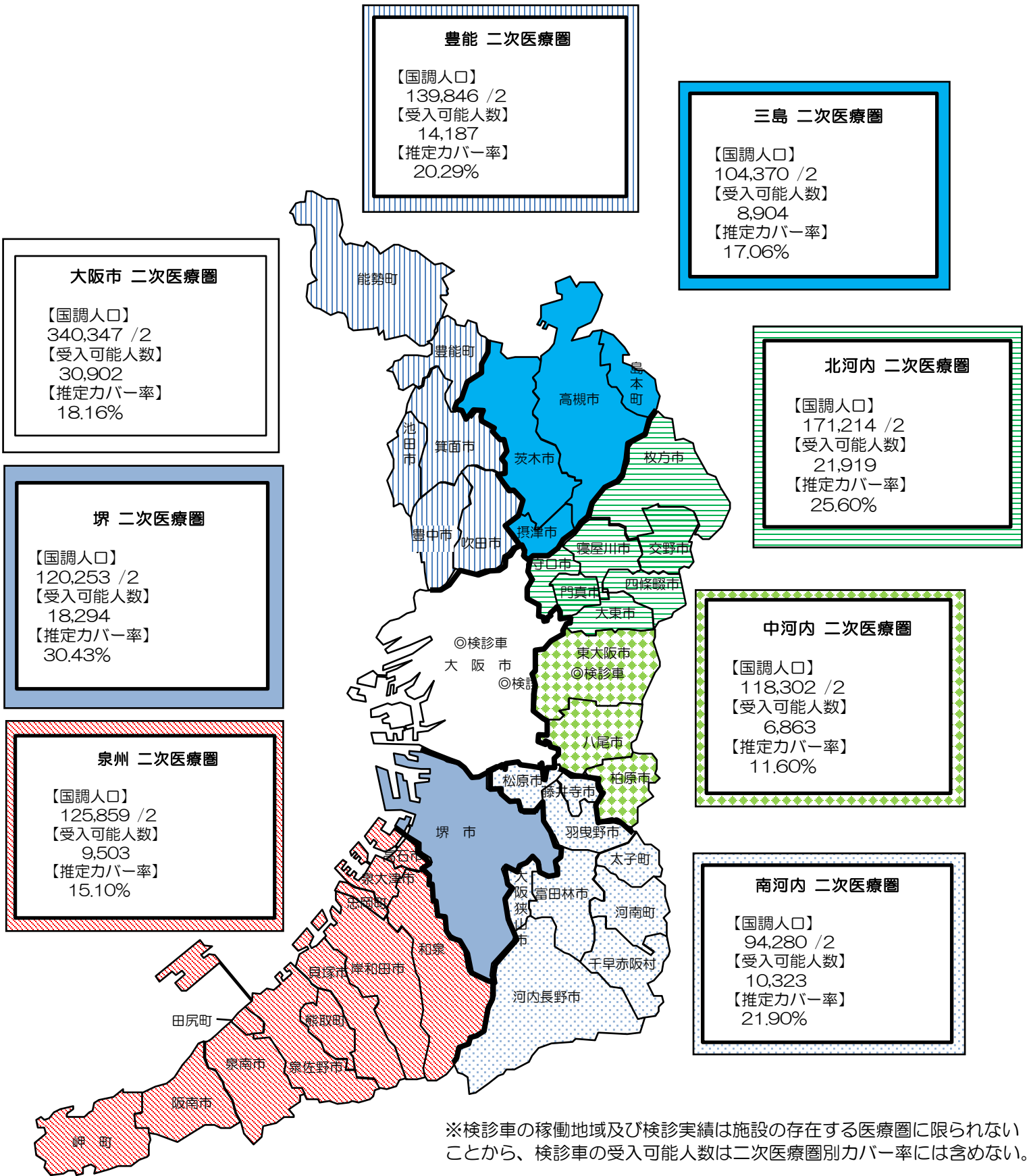
※国勢調査による人口より



<p>大阪府(施設)</p> <p>【国調人口】 1,822,858 /2</p> <p>【受入可能人数】 120,895</p> <p>【推定カバー率】 13.26%</p>	+	<p>検診車</p> <p>【受入可能人数】 43,027</p>	=	<p>大阪府(施設+検診車)</p> <p>【国調人口】 1,822,858 /2</p> <p>【受入可能人数】 163,922</p> <p>【推定カバー率】 17.99%</p>
---	---	--	---	---

6 二次医療圏別に見たマンモグラフィ検診の推定カバー率(50-69歳)

※国勢調査による人口より



<p>大阪府 (施設)</p> <p>【国調人口】 1,214,471 /2</p> <p>【受入可能人数】 120,895</p> <p>【推定カバー率】 19.91%</p>	+	<p>検診車</p> <p>【受入可能人数】 43,027</p>	=	<p>大阪府(施設+検診車)</p> <p>【国調人口】 1,214,471 /2</p> <p>【受入可能人数】 163,922</p> <p>【推定カバー率】 26.99%</p>
--	---	--	---	---

<乳がん検診医療機関マップ>

◎H25年度受け入れ2000人～

○H25年度受け入れ1000人～2000人

豊能二次医療圏

- ◎ 2医療機関
- 4医療機関

三島二次医療圏

- ◎ 1医療機関
- 1医療機関

北河内二次医療圏

- 6医療機関

大阪市二次医療圏

- 6医療機関
- ◎ 1医療機関

堺市二次医療圏

- 3医療機関
- ◎ 1医療機関

中河内二次医療圏

- 2医療機関

泉州二次医療圏

- 3医療機関

南河内二次医療圏

- 4医療機関

